



学校だより

おうばいとうり 桜梅桃李

がっこうちょう いしかわ ひでこ
学校長 石川 秀子

私と小鳥と鈴と
金子みすゞ

わたし りょうて
私が両手をひろげても

そら と
お空はちつとも飛べないが

と ことり
飛べる小鳥は私のように

じめん はや
地面を速く走れない

わたし からだ
私が体をゆすっても

きれいな おと
音はでないけど

あ のなる すず
鈴は私のように

た くさん うた
な唄は知らないよ

すず ことり わたし
鈴と、小鳥と、それから私、

みんなちがって、みんないい

3がつげじゆん かた にゆうがく しんきゆう いわ
3月下旬にはまだ固いつぼみだった桜も、子どもたちの入学や進級を祝うよう
きに はじめました。お子様方の立野小学校への入学ならびに次の学年への進級
おめでとうございます。今年度もどうぞよろしく願いいいたします。

さて、様々な花が咲く春のこの季節になると私には思いだす言葉があります。そ
れは以前先輩から教わった「桜梅桃李」という言葉です。桜も梅も桃もすももも、
それぞれが美しい花です。それぞれの花がその特性を発揮して見事に花を咲かせる
ように、人もまた各々花を咲かせ、実を結びます。子どもたちもまた、素晴らしい花
を咲かせる種をもった一人ひとりです。一人ひとりが個性をもち、夢や希望の実現に
向け、安心・安全な毎日をのびやかに過ごしたいと願う大切な存在です。一人ひと
りが素直に自分らしさを発揮し、仲良く、お互いを尊重し合いながら、よりよく成長
する努力を支援する場の一つが学校です。一人ひとりの個性が柔らかに影響し合っ
て、学級、学年、学校の個性が生まれます。その影響し合う輪の中に、私たち
教職員と、地域・保護者の皆様が加わります。

大きな花を咲かせすくすくと成長するためには、しっかりと根を張れる土壌と、
水と太陽が大切です。学校と家庭と地域とが連携し子どもたちを育てる土壌となり、

心を潤し、正しく判断し実行する力と考える力を育てられるよう、ともに働きかけ続けたいと願っています。

新しい生活に向け、わくわくする気持ちと共に、どきどきする思いや不安も抱えながら子どもたちは新年度を迎えま
す。期待や希望、決意、不安等の心のうちは簡単には目に見えません。様々な行動や表情からお互いに感じとり、
よりよい育ちにつなげていきたいと思ひます。

学校教育目標の「意欲・熱中・満足」の実現に向け、学校が子どもたちにとって安心できる場であり、仲間とと
もに協力し、お互いの力を高めあえる場となるよう、教職員一同努めてまいります。